



八鹿病院

yoka municipal hospital

NEWS



地域に暮らす人々と共に心あたたかな医療をすすめたい

特集

整形外科・山本医師が解説！

よくある病気 トップ3

- ▶ チーム八鹿病院 「薬剤科」
- ▶ 現場の Expert 「皮膚・排泄ケア認定看護師」
- ▶ 教えて！健康コラム 「緩和ケアの大切さ」
- ▶ 看護部だより 「七夕を通じて感じること」
- ▶ トピックス 養父市病児保育センター開設 他
- ▶ インフォメーション 子どもの視機能検査はじめました 他

2019

8

月号

公立八鹿病院基本理念

私たちは、地域中核病院として、医の倫理を基本に、質の高い医療と優れたサービスをもって、住民の健康を守り、地域の発展に尽くします。





特集

整形外科・山本医師が解説!

よくある病気トップ3



いつまでも健康な腰や膝で生活したい。多くの方が考えておられることではないでしょうか。そのためには肩・腰・膝・関節など運動器の病気や症状を知り、早めに治療することが大切です。今回は、運動器を専門に診る整形外科の病気を特集します。



整形外科
やまもと ゆうや
山本 裕也 医師

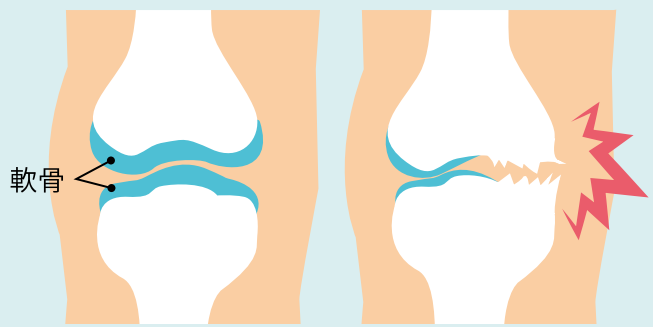
1

変形性膝関節症

へんけいせいひざかんせつしょう

変形性膝関節症の状態

正常



軟骨がすり減り関節の隙間が狭くなると、骨がぶつかり炎症が起きる。水がたまる場合もある。

中高年に多い膝の痛みの多くがこの病気

関節軟骨が変化したり破壊されることによって起きる病気です。主に膝関節に起こるものをいいます。原因としては、関節への過度のストレスや加齢など様々な原因があります。50歳以上に多く発生し、関節痛や関節の腫れ、歩行障害などの症状が発生します。関節注射での治療でよくなることが多いですが、その他薬物治療、手術治療などがあります。よくサプリメントを飲まれる方もおられますが、運動療法や減量、鎮痛薬の服用のほうがより良い方法と言えます。

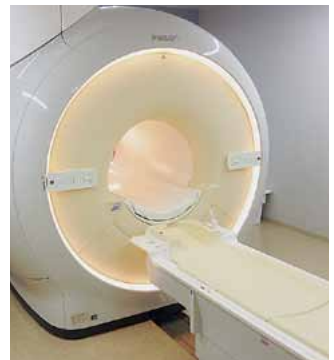
痛みやしびれ、症状軽くても続く場合は受診を

整形外科は運動器を扱う診療科です。手足の関節の痛みや腫れ、しびれなどが主な症状として現れます。急激に悪化する場合は早期の受診が必要です。また、軽い症状でも長い間続いている場合や徐々に悪化する場合も受診した方がよいと思われる場合があります。転倒などで四肢に痛みがでる場合も受診が必要です。その他、この症状はどこから来ているんだろう、気になるけど病院で診てもらった方がいいのかな、など日常での疑問点・悩みがあれば、遠慮なく受診して頂ければと思います。

当院整形外科の特徴

◆MRIがほぼ当日に検査可能

整形外科の病気(脊椎、関節、靭帯など)の非常に高い診断能力を発揮しているMRI。当院では2台稼働し、ほぼ当日中の検査が可能で早期診断に役立ちます。

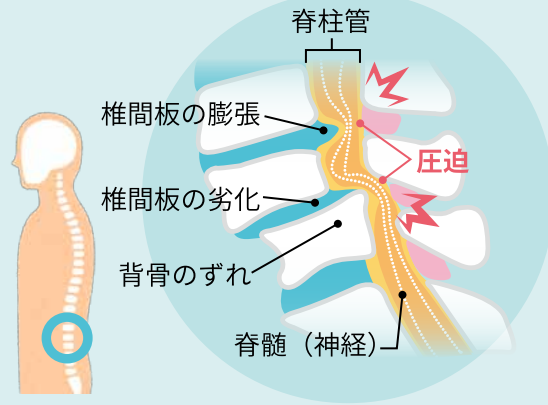


2 腰部脊柱管狭窄症

ようぶせきちゅうつかんきょうせきしやう

座って休むと痛みが減る
見過ごされがちな病気

脊柱管狭窄症の状態



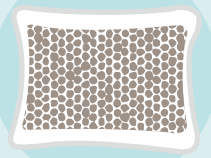
脊柱管という骨に囲まれた部分で脊髄（神経）が圧迫されている状態のことをいいます。原因としては、加齢に伴う骨の変形や靱帯の肥厚に伴うものが多く、60歳以上に多く発症します。症状としては、足のしびれや痛み、またそれにより長い距離が歩けない、足の筋力低下などが起こります。薬物治療でよくなることが多いですが、症状によっては手術治療になることもあります。

整形外科部長 元津医師よりメッセージ

山本先生着任後、外来診療での新患者さんの予約が大幅に早くとれるようになりました。昨年度は、2週間以上お待たせすることも多々ありましたが、この点に関しては大きく改善しております。また、MRI検査がほぼ当日にできるというのは、他院ではなかなかないことで、当院の大きなアピールポイントです。変形性膝関節症に対する手術も昨年度は休止しておりましたが、再開しました。

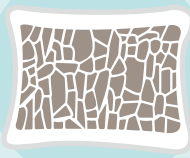
今後もスタッフ力を合わせ最適な治療を実践し、患者さんの不安解消に繋げていきたいと考えております。

健康な骨



骨密度が高く丈夫

骨粗鬆症の状態



スカスカで強度が弱い

3 骨粗鬆症

こつそしょうしやう

軽い転倒から骨折し寝たきりや要介護となるケースもあり。



無症状で静かに進行する
加齢など様々な要因で骨がもろくなり、軽微な外傷（歩いていてこけたなど）で骨折をきたす原因となりますが、時に外傷歴がなくとも骨折する場合があります。骨粗鬆症自体には症状がなく、検査（骨塩定量検査など）や骨折をして初めて分かることがほとんどです。治療は薬物治療があり、年齢や重症度などにより内服や注射での治療などの選択肢があります。

整形外科外来スタッフ



◆ 早期離床・退院を目的とした入院中のサポート

整形外科で入院される患者さんの多くは手術をされており、術後の看護が重要となります。迅速な対応と患者さん中心のケアで患者さんを安心安全にサポートします。また、看護師以外にも薬剤師やリハビリスタッフなど多職種チームが情報を共有しあい、患者さんの早期離床・早期退院を目指しています。

◆ 充実したリハビリの早期開始

当院のリハビリテーション科は、公立病院の中では随一のスタッフ数を有しています。大腿骨頸部骨折、人工膝関節置換術後、靱帯損傷など整形外科疾患に対するリハビリテーションも術後や外来で積極的に実践しています。



こんにちは～
八鹿病院の訪問
薬剤師です～



薬を飲み忘れないように、お薬カレンダーに日にち・時間帯ごとに薬をセットします。お薬カレンダー、服薬カート、整理箱など患者さんが管理しやすいものを選びます。

各部門から知っていただきたい
とりくみなどをご紹介します



チーム八鹿病院

薬剤科

薬剤師のご自宅への
訪問をご利用ください

料金・回数
(1割負担の場合)
[介護保険の方]
1回 558円
(月2回まで)
[医療保険の方]
1回 650円
(月4回まで)



患者さん宅

専任の
薬剤師が
訪問

ご自宅でこんな風になっています

訪問する患者さんによって内容は多少
異なりますがご自宅でこんな風に過し
ます。滞在時間は約30分です。

お薬カレンダーに薬をセット

健康状態チェック(血圧・体温測定など)

薬の効果や副作用を確認

薬の相談・アドバイス

八鹿病院

訪問

在宅部門
スタッフ

看護師
リハビリ
管理栄養士
歯科衛生士

情報共有
伝達

薬の副作用による生活上の
注意点など

薬剤師

処方

情報共有
伝達

薬用量の調整、
薬の剤形変更、
病状変化など

医師



安心した生活のために薬剤師ができること

当院薬剤部では平成6年より、専任薬剤師が患者さんのご自宅に訪問し適切な服薬ができるよう支援しています。近年、在宅で療養されている患者さんは年々増加していますが、実際に訪問すると、薬が多いために管理が出来ず、飲み残しや飲み間違いが発生するなど、自宅での薬剤管理の難しさを目の当たりにしています。そのような患者さんに対し、自宅訪問により適切な服薬指導をする必要性を感じています。

訪問薬剤師は患者さん宅へ薬の配達をするだけではなく、お薬に関するさまざまな支援をおこなっています。

●薬を正しく飲むための支援

●薬の形状変更(錠剤・粉薬)、服薬カート作成など

●薬の効果や副作用の確認

●薬と薬、食品との飲み合わせの確認

●薬と体調についての相談

その他にも薬の管理、薬の服薬状況・保管状況及び残薬の有無の確認などをおこなっています。

在宅部門スタッフや病棟薬剤師との連携

訪問薬剤師は、在宅部門のスタッフや病棟の担当薬剤師なども連携しています。双方が情報交換を積極的におこなうことで、医療・介護のさまざまな視点からの指導や支援が可能となります。

「ご自宅で療養されている方で、「つつい葉を飲み忘れることがある」、「家にたくさんの葉が残って困っている」という患者さんまたはご家族の皆さんは、お気軽に当院の薬剤師にご相談ください。

当院で活躍する
認定・専門職員を紹介!

現場の Expert エキスパート

File.03

最適な皮膚・失禁ケアで
生活の質を高める

皮膚・排泄ケア 認定看護師

看護部
吉野 洋子

皮膚・排泄ケア認定看護師とは?

創傷に対する皮膚のケアや、人工肛門・人工膀胱造設のサポートやアフターケア、排便・排尿のトラブルを抱える方へのケア（失禁ケア）の研修を受け、認定を受けた看護師です。

普段はどんなことをしているの？

褥瘡（床ずれ）をはじめ創傷を有する患者さんの処置や、ケア方法の提案をおこなっています。人工肛門造設予定の患者さんには、手術前よりかわり、人工肛門の位置決めやケアについて説明します。術後は自立したケアが実施できるように共に考えていきます。失禁ケアに対しては、皮膚トラブルの予防方法を提案したり、トラブル時の対応をおこなっています。昨年末からは新たにフットケア外来も担当しています。医師とともに糖尿病患者さんの足病変のリスク評価、足のケア方法のアドバイス、爪切りや角質除去などのケアをおこなっています。

また、院外から研修依頼があれば施設等に訪問し、患者さんがよりよいケアを受けられるよう専門知識を広めています。

この資格を目指した理由は

もう一人の皮膚・排泄ケア認定看護師とともにNST専門療法士（患者さんに栄養療法のサポートをするチームの一員）として院内・院外の研修会に参加していました。そこで、創傷のケアをおこなうなかで、科学的根拠に基づいたケアを実施することの大切さを学びました。私も皮膚・排泄ケア認定看護師として知識を学び、ケアを実践していきたいと思いました。

やりがいを感じていることは

ケアをおこなってありがとうと言ってもらった

ときは、やって良かったと感じます。また、人工肛門造設後の患者さんがケアの自立ができ退院後、外来通院時に声をかけていただき挨拶させていただいた時は、うれしく思います。

そして、スタッフの育成も認定看護師の役割の一つでもあり、ケアを共に実践し、共に考える中でスタッフの成長を感じる事が出来たときは、指導した成果を実感することができます。

認定看護師として大切にしていること

地域中核病院として、褥瘡をはじめスキンケアの指導を通し、在宅から地域との連携も深めていきたいと考えています。患者さんが安心して地域で生活できるように、今後も活動をおこなってまいります。



フットケア外来の様子。足のケアやアドバイス、必要時には医師診察へ紹介します。



院外施設での研修。実演を交え取り組みやすい研修をおこないます。

フットケア外来のごあんない

外来日：毎週月・木曜日（午前）※予約制
糖尿病の方など足のケアにお困りの方は一度ご相談ください。

【通院中の方】通院中の診療科

【初診・通院していない方】地域医療連携室



医療のスペシャリストが
伝授する

教えて!
健康
コラム

緩和ケアの大切さ

緩和ケア科 岸本 弘之



「ひとは必ず死にます」

こう書くと思われがちになると思いますが、しかしこれは紛れもない事実です。そして「がん」は死因の第一位であり、日本人の3人に1人はがんで亡くなっています。

がんに伴う心と身体の苦痛を軽減させ、その人らしい生活を送るための治療とケアが「緩和ケア」です。

緩和ケアは、がんと診断されたときから必要なものです。身体の痛みや息苦しさ、手術や抗癌剤、放射線治療の副作用や後遺症、再発・転移の不安、不眠、医療費の心配、家族の心配など、さまざまな問題で悩まれている患者さんご家族に寄り添い、痛みや不安などの症状を和らげ、日常生活を穏やかに、前向きに過ごせるように途切れることなく援助していくことが重要です。そうすることで寿命が延びるといふ報告もあり、また今後はがん以外の病気にも緩和ケアが広がっていくことが予想されます。

私たち公立八鹿病院の職員全員が、皆さんの痛みや悩みに寄り添いたいと考えています。あなた大切なひとのために、そしてあなた自身のために緩和ケアの大切さを知ってください。

がん診断後からのつらさや不安

診断後から早期に緩和ケアを開始

穏やか・前向き
に過ごせる



治療と並行して緩和ケアを開始することで、心と体のケアの充実を図り治療や生活が穏やかに過ごすことができます。

その人らしい生活を大切に
外来・入院・ご自宅での
緩和ケアをサポートします

緩和ケアを受けたい方、知りたい方
お気軽にご相談ください!

[お問い合わせ]

地域医療連携室
電話 079-662-5555

心のつらさ

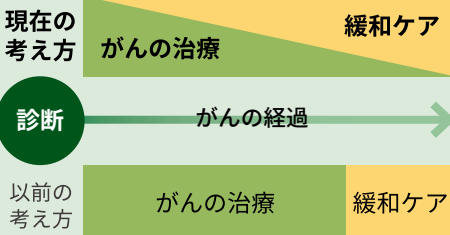
不安・イライラ・不眠
気分が落ち込む
など

身体をつらさ

痛み・息苦しさ
吐き気など

その他の不安

仕事や家族のこと、
治療のこと、お金のこと、
退院後の生活のことなど



七夕を通じて感じること

5病棟看護師 細見 詩保代

かんごぶ
看護部だより

先日、私の病棟では七夕の時期という事もあり、入院されている患者さんと七夕のお願い事を短冊に書きました。患者さんの書いた短冊には「早く楽になりたい。」と。早く元気になって退院したいのかな、手術後の辛さから早く解放されたいのかな、そんな事を思っていた私ですが、意味を聞くと「治りたい半分、もう逝きたい半分」と。

積極的な最善の治療をおこなう病棟では、身体面のケアが最優先になってしまいう事もしばしば。しかし改めてはっとさせられた瞬間でした。医療の進歩が目覚ましい今日では、人生百年も当たり前前の時代となりつつあります。そうした中で私達看護師には、より一層その人らしい人生を支える、その人らしさを尊重した看護が求められていると考えます。とても尊く難しい事だと思いますが、私は大切にすべき事だと感じています。

他にも院内で見かける短冊には「病気に打ち勝つ!」「皆に幸あれ」など様々でした。私は看護師として患者・家族の辛さや思いに耳を傾け、心に寄り添える看護をしたいと感じました。

6/19
7/23

小佐地区・宿南地区
健康講座&住民懇談会開催



小佐地区での様子



宿南地区での様子

養父市小佐地区・宿南地区にて健康講座・住民懇談会を開催しました。小佐地区では元津院長補佐より病気や高齢が原因で「立つ」「歩く」などの能力が低下する状態のロコモティブ症候群についてのお話しや簡単な体操をお伝えし、宿南地区では脳神経外科医である福森副院長より認知症の予防と治療についてお話ししました。

この健康講座&住民懇談会は4回の開催が終了しましたが、当日には多くの住民の皆様にご参加ただけており大変感謝しております。今年の10月・11月には香美町での開催も決定しており、今後も皆様から頂いたご意見を病院運営に生かし、よりよい医療をお届けしてまいりますと考えています。引き続き、月1回のペースで開催してまいりますので、皆様のご意見等をお聞かせください。

※今後の予定については8ページをご覧ください。

6/20
開設

当院西駐車場内に
養父市病児保育センター開設

養父市病児保育事業として、養父市病児保育センター「ほわほわ」が当院西駐車場内に設置され、6月20日より利用が開始されました。

当院は養父市より委託を受け、看護師の定期巡回や容体確認による担当の保育士へ病院受診・緊急搬送等のアドバイスなどをおこないます。また緊急時、当院小児科や総合診療科等に対応が可能な場合の受診を受け入れるなど、おかあさん達が安心して子どもさんを預けることができるよう、バックアップしていきたいと考えています。



養父市病児保育センター「ほわほわ」

養父市八鹿町八鹿 1891 番地 3

電話：079-666-8307

[利用時間] 7:30 ~ 18:00 ※利用初日は 9:00 から

[予約受付] 電話予約 (9:00 ~ 16:00)

[利用対象]

養父市内に居住又は通常通所する施設の所在地若しくは保護者の勤務地が養父市内の満6ヶ月から小学校6年生までの児童

みんなの願い、天まで届け！ 八鹿病院の七夕イベント

7/3

院内七夕コンサート



八鹿病院看護学校生による元気な合唱



浅原さんの素敵なピアノ演奏

7月3日、毎年恒例の院内七夕コンサート(第52回)を開催しました。公立八鹿病院看護学校生(第28期生)による合唱、養父市在住の浅原初音さんによるピアノ演奏、そして最後は、「上を向いて歩こう」「ふるさと」「七夕さま」の3曲を参加者全員で歌い上げました。学生さんの初々しい歌声や、浅原さんの軽快なピアノ演奏の中、七夕の楽しいひとときを過ごすことができました。



当日までに綺麗な七夕飾りができました！

7/9

緩和ケア病棟「七夕会」

7月9日、緩和ケア病棟にて七夕会を開催しました。患者さん・ご家族にご参加いただき楽しいひとときを過ごしました。七夕の歌を歌い、飾りや短冊を願いをこめて作り笹にかざりつけしました。完成した七夕飾りは入院のお部屋に飾っていただいています。



患者さんと一緒に七夕飾り作成。かわいらしい飾りが完成しました！

子どもの視機能検査はじめました

子どもの弱視（眼鏡やコンタクトレンズで矯正しても視力がでない目のこと）は危険因子を早期発見し早期に治療することが大切です。目を細めて見るなどお子様の目で気になることがあればご相談ください。

- 画面を見て数秒で終了
- 6ヶ月以降のお子様から検査可能
- 検査料金は別途かかりません
- 当日検査も可能（結果は後日の場合あり）

簡単な検査で
早期発見・治療へ



（お問い合わせ）小児科外来

公立八鹿病院組合 職員募集のお知らせ

職種・募集人数	受験資格	試験方法	採用期日	
薬剤師 1名	昭和55年4月2日以降に生まれた者で薬剤師免許取得者または免許取得見込みの者	作文・教養 個人面接	令和元年度中もしくは令和2年4月1日予定（応相談）	
介護福祉士	3名	昭和45年4月2日以降に生まれた者で介護福祉士免許取得者	作文・教養 個人面接	令和元年度中（応相談）
	3名	昭和45年4月2日以降に生まれた者で介護福祉士免許取得者	作文・教養 個人面接	令和2年4月1日予定
	2名	令和2年3月卒業予定の新卒者で介護福祉士免許取得見込み者	作文・教養 個人面接	令和2年4月1日予定

【書類受付期間】令和元年8月26日（月）～9月19日（木）必着

【試験日】令和元年9月29日（日）

【結果発表】令和元年10月中旬

※資格免許取得（卒業）見込みの者は資格免許取得（卒業）が採用の条件となります。

●募集に関する詳細または最新情報は当院のホームページ（採用情報）をご確認ください！みなさまのご応募お待ちしております。

（お問い合わせ）人事会計課

イベント情報

2019年

8月～10月

公立八鹿病院 健康講座&住民懇談会

【対象】対象地区の方・どなたでもご参加可能

申込不要 無料 （お問い合わせ）総務課

（伊佐地区）8/30（金）19:30 - 伊佐ふれあい倶楽部

「健康長寿を保つ秘訣：心臓病・脳卒中・認知症の予防」

【講師】後藤葉一（公立八鹿病院 院長）

（大屋地区）9/18（水）19:30 - 大屋公民館

「CT・MRIでわかる病气」

【講師】小山 司（公立八鹿病院 副院長 放射線科部長）

（南谷地区）10/17（木）19:30 - 南谷ふるさとセンター

「ソケイヘルニアについて」

【講師】西田勝浩（公立八鹿病院 副院長 外科部長）

◆香美町（村岡・小代）でも開催決定！

（兔塚地区）10/3（木）19:30 - 兔塚会館

（村岡地区）10/15（火）19:00 - 村岡区中央公民館

（小代地区）10/29（火）18:30 - 小代区総合センター

「健康長寿を保つ秘訣：心臓病・脳卒中・認知症の予防」

【講師】後藤葉一（公立八鹿病院 院長）

糖尿病教室

【対象】糖尿病をお持ちの方またはそのご家族

要申込 有料 （お問い合わせ）内科外来

8/28（水）15:00 - 公立八鹿病院研修ルーム（2階）

「糖尿病と高血圧」「減塩教室」「お口の健康Q&A」

9/25（水）10:30 - 公立八鹿病院研修ルーム（2階）

「みんなで調理実習！旬の食材で糖尿病食を作ろう」

医師異動のお知らせ

【新任医師】

令和元年7月1日付
よろしく申し上げます



ととき しゅうと
【外科】殿城 秀斗

【退任医師】

令和元年6月30日付
お世話になりました

【外科】黒田紗菜恵